

2025

3

No.337

「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

ふくし“きらり人。”
任命しました！



ふくし“きらり人。”安島 由希子 さん

Contents

2 3 第29回「いばらきねんりん文化祭
わくわく美術展」を開催しました

4 5 ふくし“きらり人。”
社会福祉法人仁心会
みと東部特別養護老人ホーム
安島由希子さん

6 7 地域における公益的な取組について
～社会福祉法人ナザレ園の活動紹介～

8 茨城県福祉人材センターにおける
福祉人材確保への取組み その2

9 ○福祉コミュニティづくり推進のつどい
○社会福祉事業従事者研修

10 第74回茨城県社会福祉大会を
開催しました

11 インフォメーション

12 わかち合おうみんなの善意



はんどちゃんの紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。

この広報誌は一部赤い羽根共同募金の配分を受けています。

第29回 茨城県健康福祉祭いばらきねんりん文化祭

わくわく美術展 / ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール

第29回茨城県健康福祉祭いばらきねんりん文化祭を、令和7年2月22日（土）から2月27日（木）までの6日間、水戸市のザ・ヒロサワ・シティ会館において開催いたしました。

いばらきねんりん文化祭は、シニアを対象とした「わくわく美術展」と、小学生を対象とした「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」として実施しています。

シニア対象の「わくわく美術展」は、日本画、洋画、工芸・彫刻、書、写真の5部門で構成し、それぞれの部門でも、日頃の研鑽を重ねられた秀作ばかりが展示され、出品者の個性あふれる力作が会場を彩りました。なお、今回県知事賞を受賞した作品10点は、令和7年10月18日から10月21日まで開催される全国健康福祉祭「ねんりんピック岐阜2025」の本県代表作品として出品される予定です。

また、小学生を対象とした「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」は、応募数695点の中から選ばれた入賞作品40点が展示されました。どの作品も素晴らしく、家族や地域のシニア世代を生き生きと表現した作品は、子どもたちの視点ならではの大胆な構図や鮮やかな色遣いなど、見る人を思わずにこやかにさせるものでした。

◆ わくわく美術展 茨城県知事表彰 ◆

◆ 日本画の部 ◆



「若象」北島 清子 結城市



「暖春」堤 節子 筑西市

◆ 洋画の部 ◆



「黒部の電気機関車」大嶋 静 古河市



「竹林の妙」後明 廣志 土浦市

◆工芸の部◆



「Eさん」関根 幸雄 常陸太田市



「金彩釉 四耳壺」坂谷内 悟 取手市

◆書の部◆



「李白詩」矢田部 如龍 水戸市



「張継詩」石井 春秀 日立市

◆写真の部◆



「すごい」石川 裕康 水戸市



「里山に生る」関 俊輔 日立市

ふれあひ人。



あじま ゆきこ
安島 由希子さん

社会福祉法人 仁心会
みと東部特別養護老人ホーム
介護福祉士

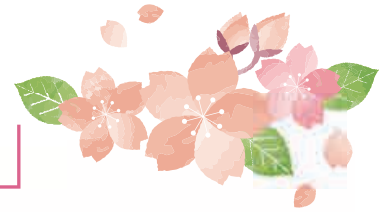


社会福祉法人仁心会は、水戸市とひたちなか市で高齢者福祉施設を運営しています。高齢者の家族の助けとなり、利用者が安心・快適に過ごせる生活の場と質の高い介護、医療に強い介護を提供していくことが基本理念です。安島さんが勤務する「みと東部特別養護老人ホーム」は定員80名、内ショートステイ10名、さらに施設内にデイサービスセンター、居宅介護支援事業所があります。安島さんは、同施設のオープン時からのスタッフで在職6年目、現在は介護福祉士として利用者の食事の準備や介助、入浴介助、排泄介助など日常の介護全般を担当。ユニットリーダーとしても、スタッフの信頼を得て活躍しています。

人と関わる仕事が好きだから

安島さんが福祉の仕事に就いたのは、同施設が初めてでした。「結婚前はエステサロンで美顔や痩身の施術をしていました。結婚して仕事を辞めて子育てに専念し、子どもが小学校に上がってからは飲食店のフロアのパートを始めました。その頃から、手に職をつけたいという気持ちがあり、何がいいかと考えた時に人と関わる仕事が私は好きだと感じたので、介護の仕事に興味を持ちました」と話します。おばあちゃん子だったという安島さんは、高齢者と関わる仕事を目指し、パートで働きながら介護職員初任者研修を受講しました。「介護の仕事の内容が詳しくわからなかったので勉強したかったのと、実際に現場に入った時に、知識があった方が仕事がしやすいと思ったからです。働

「社会に貢献できる仕事、 人の役に立てる喜びがあります」



きながらの勉強だったので、疲れて眠くなってしまいうこともあり大変でしたが、現在の仕事につながる知識を得られたので頑張れました」と振り返ります。そんな中、安島さんは、研修で気付いたことがありました。「祖母はだんだんと目が見えなくなってきて、電話も出られなくなり、食事も食べこぼしたりしていました。その時は認知症というのが分からなかったのですが、歳をとってできなくなったのだと思っていました。初任者研修の講師の先生が、認知症の症状が進むと失行という状態になり、日常の簡単な動作ができなくなるという話をされて、祖母は認知症でいろんなことができなくなったのだと気付きました」と話します。研修を修了した頃、新しく特別養護老人ホームができると聞いて応募し、就職したのが今の施設です。

より良いケアができた時にやりがいを感じる

現在は、「とにかく充実している」と言う安島さん。仕事のやりがいを感じる時は、「チームワークが必要な仕事なので、スタッフと一緒にになって利用者の適切なケアを考え、それがうまくいって利用者が快適に過ごせているなど、より良いケアができていると実感できたときに、やりがいを感じ



ます」とのこと。また、リーダーとしてベテラン介護士や外国人スタッフをまとめていくことも、やりがいの一つになっています。仕事で大変さを感じることは、「認知症で不穏状態にある方への対応です。例えば家に帰りたいと言っているときに、どうしてあげたらいいのか、どうすれば不安とか心配を取り除いてあげられるのかが難しい。一人ひとり違うので、職場の仲間に相談しながら対応しています。ベテランの介護士は経験を積んでいますから、こういう時はこういう感じで、と成功パターンをアドバイスしてくれます。また、若いスタッフも、この方は何が好きで何を喜ぶかをよく見ていく

れるので、そういう日頃の気づきも大切にして、みんなで話し合いながら取り組んでいます」とのこと。日々の介護の中で、「ありがとう」という言葉や「ここに入って良かったよ」と言ってもらえると嬉しい、という安島さんです。



人との関わりが嫌いでない人なら大丈夫

福祉の仕事の魅力をたずねると、「とにかく社会に貢献できる、人の役に立てる喜びがあります。私自身、この仕事を始めて私にも人の役に立てることがあるのだなと思いました。それが、福祉の仕事の魅力です。また、利用者の反応が、ダイレクトに伝わることも魅力の一つです」福祉の仕事に向いているのは、「人との関わりが嫌いでない人、そこが一番大事です。優しい人、人の役に立ちたい気持ちがある人ならどなたでもできると思います。私も40歳を過ぎてから福祉の仕事をしたので、何歳になっても大丈夫。悩んでいる方は、思い切って入ってきてほしいです。やってみて大変と思うこともあるでしょうが、その何倍も喜びの大きい仕事です」と話してくれました。安島さんのこれからの目標は、さらなるスキルアップです。「就職してからも、様々な研修を受けさせてもらって、資格を取得しています。今後の目標はケアマネジャーです」と、安島さんは次の目標に向かっていきます。



地域における公益的な取組について

社会福祉法人ナザレ園 活動紹介

「社会福祉法人」は、高い公益性と専門性のもと、各法人様々な社会福祉事業を行っています。

平成28年の社会福祉法の改正により、本来から法人で行っている社会福祉事業だけでなく、これまで培ってきた専門性を生かした、地域住民を支える地域の新たなニーズに応える取組を行うことが、社会福祉法人の責務として規定されました。この取組みを「地域における公益的な取組」と言います。

今回は、那珂市の社会福祉法人ナザレ園の配食サービス活動をご紹介します。

社会福祉法人ナザレ園 理事長 菊池 義さん

社会福祉法人ナザレ園 総合事務センター所長 宮川孝明さん

社会福祉法人ナザレ園 配食サービス事業所所長 勝山ふち美さん

始まりは「お弁当を運んでくれたら助かる」の一言から

ナザレ園の歴史は古く、キリスト教の奉仕事業として1949（昭和24）年に創設した「老人の家」から始まりました。国内外の教会の奉仕と寄付により運営されていましたが、翌年に生活保護法による養老施設として茨城県知事に認可され、75周年を迎えた現在は約460名の方が暮らし、地域住民へのサービスも提供する総合福祉施設となっています。広大な敷地内には高齢者・障害者を対象とした4つの入所施設と各種在宅サービス事業所が集結し、その施設や人材を生かして、国内外の実習生の受け入れや地域のイベントへの協力、高齢者や障害者のサポートなど様々な公益的取組を行っています。



菊池義理事長

お弁当の配食サービスも、その一つです。「以前、園内に『幸福村』という一戸建ての老人住宅があり、自立して生活できる方たちが暮らしていました。だんだん歳を重ね、皆さんから『お弁当を運んでくれたら助かる』という声が聞かれるようになりました。まさしく在宅の独居老人と同じような状態で、一番必要なのはお弁当だということに気づきました」と菊池理事長は当時を振り返ります。

一番のごちそうは温かさをお届けすること

配食サービスの内容は、「身体が不自由で食事につくれない方、治療食をつくるのが難しい方、火の管理や一人での買い物が心配な方など、お食事にお困りの方はどなたでも利用いただけます。昼は40食、夜は70食のお弁当を届けています。養護老人ホームの厨房でつくり、専用の保温性のあるお弁当箱で温かさを保っています。一番大切なごちそうは、温かさをお届けすることだと思っています」と話す勝山さん。栄養士による献立でバランスの良い食事を提供し、料金は1食700円で、一か月で届けるお弁当は約3,000食です。那珂市以外でも常陸太田市の方からも希望があり、常陸太田市は一食の配達からはじまりました。現在では10名が利用しているとのこと。



宮川孝明総合事務センター所長

配食サービスの役割の半分は、安否確認

配送車は軽ワゴン4台で365日、雨の日も雪の日も、東日本大震災の日も届けました。「地域に貢献できるので、最後の仕事としてやってみたかった」という配達員の方もいます。

宮川所長は「配食サービスの車が地域を走っているのを見かけた方が、やがて自分が必要になった時に、頼めばお弁当が届くという安心感を持ってもらえれば嬉しいです」と言います。

「東日本大震災の時には、お弁当がつかれず、おにぎりを配達しました。ガソリンは、那珂市が手配してくれました。配食サービスの役割の半分は安否確認ですから、おにぎりを配れただけでもよかったです」と菊池理事長。また、訪問先で転倒している方を発見し、救急搬送につながったケースもあります。

キッチンカーで、温かいうどんやそばを届けたい

今後の取り組みとして検討しているのは、配食サービスにキッチンカーを取り入れることです。「温かいうどんやそばはお弁当では出せないの、キッチンカーがあればできると考えました。キッチンカーで庭先まで行き、食べたくてもつけれない、食べに行くこともできない人に、できたてのうどんやそばを年に何回かでも提供したいです」と思いを語る勝山さん。災害時の備えとしても、キッチンカーは有効だと検討されています。



勝山ふち美配食サービス事業所所長



配食サービスの様子

地域とつながりながら 100周年を目指して

100周年に向かっている抱負を伺うと、「これからの25年も、当園では高齢者も精神や身体に障害がある状態の方も、どんな方も受け入れます。そういう方が落ち着く方法を、職員みんなが心得ているプロの集団ですし、それがナザレ園の使命でもあります。どんな時代になろうとも、どんな方も受け入れて、その方が『本当によかったな』という人生を送ってほしいのです。また、地産地消・農福連携に取り組み、有機農法で近隣の方に園で使う野菜を栽培してもらおうとか、地元

の農家との協力体制づくりも進めていきたいです。地域とつながりながら100周年を目指します」と話してくれました。

県社協（茨城県福祉人材センター）における 福祉人材確保への取組み その2～若者へのアプローチ～

学生アルバイト募集事業

学生が社会福祉事業を行う施設や事業所等でアルバイトをすることで、学生の福祉への理解・関心を高めるとともに、福祉・介護の職場の魅力や仕事内容への理解を促進し、将来の福祉への職業選択に寄与することを目的として実施しています。

今年度は、高校生をはじめとする21名の方から申込みがあり、その内、10名の方がアルバイトに結びつきました。



▲学生アルバイトの申込はこちら

高校生との座談会やイベントへの参加

高校生が今関心があること、将来の進路選択や就職に対する期待や不安等の本音を伺うことで、大人がイメージしている若者像を捉え直すきっかけとし、若者のキャリア教育等に対する事業展開に寄与することを目的として、水戸市と牛久市（牛久市社会福祉協議会との共催）で座談会を開催しました。



▼水城高等学校での座談会

《座談会にご協力をいただいた学校》

水城高等学校・茨城県立牛久栄進高等学校
茨城県立牛久高等学校・つくば開成高等学校
東洋大学附属牛久高等学校



高校2年生を対象とした体験型企業説明会「COURSE EXPO」に参加し、「福祉」を体感してもらいました▲

福祉人材確保に向けた若者と取り巻く関係者への意識等調査

今後の福祉人材の確保・育成・定着に関する対策を立てるために、県内の福祉施設・事業所で働く、とりわけ若年層の職員の仕事や働き方に関する考え方、学校の進路担当教員や家族等の福祉職場に対する意識等について実態を把握するため実施しました。

【調査対象】

- ① 県内の福祉施設・事業所に勤務し、日常的に利用者の支援に直接にあたっている、就職後概ね5年以内かつ30歳以下の職員 ※派遣職員を除く、正規職員及び非正規職員
- ② ①の家族等（例：父母、祖父母、兄弟など）
- ③ 県内の中等教育学校、高等学校、高等専門学校、専門学校、短期大学、大学の進路担当教員等

【主な調査項目】

若手職員 勤務状況・賃金、福祉職を選んだ理由・時期・相談相手、就職後の印象の変化、転職検討の有無
家族等 福祉職の印象、就職にあたっての助言等、就職後の印象の変化
学校関係 生徒からの進路相談の状況・助言の有無、福祉職の労働環境に関する印象、地域の福祉施設との連携状況、処遇改善の認知度

【調査期間】 令和6年12月16日～令和7年1月15日

【調査票発送事業所等数】 5,781 か所

【調査結果の公開時期】 令和7年3月（本会ホームページにて公開します）

県社協では、来年度以降も若者世代へのアプローチを強化していきます。



福祉人材センターの活動を
インスタグラムで発信しています！

問 福祉人材・研修部 TEL：029-244-4544

はんどちゃんネットワーク運動 「福祉コミュニティづくり推進のつどい」で多様なつながりができました！

県社協は、平成10年から福祉コミュニティづくりに共感する方々を中心に、地域の生活課題を「みんなの問題」として共有化し、その解決のための活動を身近な地域や団体から茨城県全体に拡げる「はんどちゃんネットワーク運動」を推進しています。これまで、地域のサロン（居場所）を増やし、人と人とのつながりを増やしていきたいと進めて参りました。現在では、地域のサロンは1,400か所を超えています。地域でサロン活動している人たちのつながりづくりと、あらたなつながりを持てる機会として、毎年「福祉コミュニティづくり推進のつどい」を開催しています。

今年度は、令和6年11月27日に、ホテルレイクビュー水戸で開催し、180名を超える方に参加いただきました。地域で長年サロン活動している方をはじめ、地域の居場所を作りたいと思っている方、子ども食堂を運営している方、すでに子どもの居場所を運営している方など、様々な方がつどいました。

活動報告では、「NPO 法人ただいま」「水戸ヤクルト（株）」「（株）UDワーク」の3つの団体からの事例報告と、情報交換や体験のブースもあり、新たな居場所空間「メタバース」の体験コーナーも好評でした。

本会では、今後も地域の方たちのつながる場づくりや、助成金などによる居場所づくりを進めて参ります。

☆詳細は、「はんどちゃんネットワーク運動」で検索🔍



「つどい」の様子



メタバースの体験



新聞紙を使ったワークショップ

令和7年度社会福祉事業従事者研修の受付がはじまります

「新任職員研修」受講者募集を開始しました！

講義は集合と動画配信で行います。詳しくは、研修システムページをご確認ください。

研修システムに登録していない事業所の方は、ぜひ登録をお願いします。



▲研修システムのページ
https://www.ibarakikenshu.jp/kenshu_user/

研修形態は3種類



1 集合研修 演習形式による学び、受講者同士のネットワークづくり、直接講師とのやりとりができます。

2 Zoom オンライン研修 移動時間の短縮、感染症対策にもなります。

3 動画配信研修 いつでも、どこでも、何度でも学ぶことができます。



研修システムでできること

①職員毎の受講管理ができます。②アンケート(レポート)の提出者は修了証のダウンロードができます。

問 福祉人材・研修部 TEL：029-244-3755

第74回茨城県社会福祉大会を開催しました

令和7年2月20日、茨城県・茨城県社会福祉協議会・茨城県共同募金会の主催により、ザ・ヒロサワ・シティ会館において、「第74回茨城県社会福祉大会」を開催しました。

今年度は、茨城県の社会福祉発展に功績のあった、911名の個人・団体の皆様、県知事表彰、県社会福祉協議会会長表彰・感謝、県共同募金会会長表彰を受賞されました。

式典に先駆けて、茨城県警察音楽隊の皆様、演奏を披露いただきました。詐欺被害防止等に関する講話を合間に挟みながら、6曲を演奏いただきました。参加者の皆様も、曲に合わせて音楽隊の方と一緒に歌ったり踊ったりしていただき、会場は熱気に包まれました。



茨城県警察音楽隊による演奏



第74回茨城県社会福祉大会式典

式典では、大会名誉会長・大井川知事、大会会長・竹之内県社協会長、大会副会長・岩上県共募会長から、受賞者代表11名に賞状が授与されました。

また、来賓として、茨城県議会の西野議長に御出席いただき、祝辞を頂戴いたしました。

受賞者皆様の御功績と御努力をたたえますとともに、今後ますますの御活躍をお祈りいたします。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03 (3349) 5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03 (3581) 4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

INFORMATION

お知らせ 「福祉の仕事、ありかも。」求職登録者募集中!

茨城県福祉人材センターは、福祉の仕事に就きたい方と、福祉施設・事業所をつなぎます。

無資格・未経験者でもご紹介できる仕事があります。

福祉の仕事に興味のある方は、是非ご相談ください。

相談時間(共通)

受付 9:00~12:00
13:00~17:00
(土・日・祝日及び
12/29~1/3を除く)

1. オンライン相談

- 相談時間/40分間
- 時間帯/

①10:00~10:40

②11:00~11:40

③13:00~13:40

④14:00~14:40

⑤15:00~15:40

2. 電話相談

- 電話番号 029-244-4544

3. 来所

- 場所 / 茨城県水戸市千波町 1918
セキショウ・ウェルビーイング福祉会館2階

●申込方法 /

本会ホームページ
(右記QRコード)
から予約してください。



▲オンライン相談
申込QRコード

WEBで登録、求人検索をする

「福祉のお仕事」ホームページ(下記QRコード)で求職登録や、求人情報の検索ができます。

登録していただいた方には、希望にあった求人情報をご提供します。登録、利用は無料です。

福祉のお仕事

福祉のお仕事



▲「福祉のお仕事」
QRコード

お知らせ 本会会員を募集しています!

県社協の趣旨・目的に御賛同いただける会員の方を広く募集しております。

会員の皆様からいただいた会費は、県内の地域福祉向上のために活用させていただきます。

■会員種別

- ・正会員 県社協の趣旨・目的に賛同する社会福祉施設及び社会福祉団体等
- ・賛助会員 県社協の趣旨・目的に賛同する個人または団体等

■会費 県社協の規定によります。

■会員特典

- ①県社協が実施する「社会福祉事業従事者研修」について、一部の研修を除いて、受講料を割引いたします。
- ②民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度に加入できます。

■申込方法

本会ホームページ
(右記QRコード)からご確認ください。



▲会員についての
ホームページ

問 総務企画部

TEL : 029-241-1133



お知らせ 「きずなBOX」について

県社協では、セキショウ・ウェルビーイング福祉会館1階ロビーに「きずなBOX」を設置しています。

「きずなBOX」とは、ご家庭で余っている食品を「きずなBOX」に持ち寄っていただくことで、「NPO法人フードバンクいばらき」を通じて、生活に困っている方への支援に役立てることができる食品寄付BOXです。

ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。



※常温保存可能なもので未開封、賞味期限が2か月以上残っているものをお願いします。

※要冷凍・冷蔵である食品や、生鮮食品は受け付けておりません。

問 生活支援部

TEL : 029-241-1134



わかち合おうみんなの善意<令和6年10月～令和6年12月善意金等の預託と払い出し状況>(敬称略)

交通遺児福祉基金

預託者名	金額(円)
茨城県自動車整備業界親睦ゴルフ大会	179,000
(一社)日本自動車販売協会連合会茨城県支部	1,000,000
合計	1,179,000

善意金

預託者名	金額(円)
水戸ヤクルト販売(株)	150,000
古河ヤクルト販売(株)	100,000
(株)ライズ	11,361
匿名(2件)	15,449
合計	276,810

善意品

預託者名	善意品	払出先名
茨城県農業協同組合中央会	玄米・精米 108kg	県内子ども食堂
(株)セブン-イレブン・ジャパン	食品・日用品(フードドライブ)	県内市社会福祉協議会
いばらきコープ生活協同組合	鹿島アントラーズ公式戦観戦招待 72名分	県内児童養護施設
(株)ツルハホールディングス クラシエ(株)	車いす 5台	県内社会福祉施設
(公財)報知社会福祉事業団	報知ジャイアンツカレンダー 10部	県内児童養護施設
天台宗茨城教区仏教青年会	玄米・食品・日用品等	県内子ども食堂
常陽ボランティア倶楽部	ポップコーンマシーン 2台	茨城県社会福祉協議会
(株)フジタファーム	ちぢみほうれん草 約400kg	県内子ども食堂
匿名	玄米 150kg	県内子ども食堂

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名		
茨城県庁内郵便局	合同会社鈴廣 合掌堂	茨城県年金協会
常陸太田郵便局窓口営業部	谷 宣広	田原 純子
大陽日酸東関東株式会社 水戸営業所	(一社)東京都トラック協会練馬支部	ときわの杜保育園
匿名(3件)		
茨城県福祉部 障害福祉課・長寿福祉課・子ども政策局青少年家庭課		
土浦市、つくばみらい市、ひたちなか市、神栖市、高萩市、鹿嶋市、常陸太田市、小美玉市、水戸市、龍ヶ崎市、城里町、北茨城市、五霞町、鉾田市、阿見町の各社会福祉協議会		



茨城県自動車整備業界親睦ゴルフ大会様



(一社)日本自動車販売協会連合会茨城県支部様



水戸ヤクルト販売(株)様・古河ヤクルト販売(株)様



茨城県農業協同組合中央会様



(株)セブン-イレブン・ジャパン様



(株)ツルハホールディングス様・クラシエ(株)様



天台宗茨城教区仏教青年会様



常陽ボランティア倶楽部様

いばらきの社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

TEL:029-241-1133(代)

FAX:029-241-1434

ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp>Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikikenshakyo>E-Mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

発行者／社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

※本誌が不要な方は恐れ入りますがご連絡ください。送付を停止させていただきます。

なお、ホームページからダウンロードしてご覧いただくこともできます。

